

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	13	ケアプランの整理が出来ておらず、実施状況がすぐに確認できない。ユニット同士での情報共有が出来ていない。	ケアプランの項目の実施状況がすぐに確認出来るようにする。ユニット同士での情報共有を行なう。	実施記録とプランの一体的なファイルを作成する。	3か月	
2	37	防災に備えての地域との連携が不十分である。	地域と連携して防災意識を高めていく。	地域との相互協力の取り組みとして、防災協定を作成する。	12か月	
3	6	具体的な拘束についての理解や勉強会がなされていない。	スピーチロックも含めた全体的な拘束についての理解が出来る。	研修や勉強会を行ない、きちんとした同意を求める。	12か月	
4	4	地域代表の方の参加は多いが、ご家族参加が少ない。	ご家族にも呼びかけを行ない、情報共有等を行える時間を設けていく。	案内文章をご家族に送付して知っていただき、出席を募る。	12か月	
5	35	看取りに関する連携体制がしっかりと出来ていなく、同意書類がない。	看取りに関する連携体制の確立と同意書類の作成を行なう。	書類の作成を行なう。	12か月	
6	13	定期的な休憩の確保が出来ていない。	定期的な休憩を得られるようにする。	人員調整やユニット間での協力を行ない、休憩時間の確保に努める。	12か月	
7	10	利用者や家族からの意見、要望を聞き出せる機会を設けていない。	利用者ならびに家族からの意見、要望を聞ける時間を設ける。	アンケートを取ったり、以前行っていた家族会を再開して関わりを増やしていく。	12か月	
8	14	人権教育、啓発活動に関する外部研修が出来ていない。	外部研修を利用し、きちんと自分のものにできる。	関係団体、関係個所において研修会を行なう。	12か月	
9	45	週単位での時系列での状態把握が出来ていない。	週単位での排泄状態を把握できる。	排泄チェックシートの作成を行なう。	12か月	
10	8	権利擁護に関する知識と理解が出来ていない。	職員全員が権利擁護についての知識と理解が出来る。	資料の取り寄せや研修に参加して習得行なう。	12か月	
11	2	地域に向けた情報発信や認知症の周知のための勉強会等を行なえていない。	地域住民の方々を集めて認知症に関係した勉強会、講習会を行なう。	公民館等を使用して、講師を招いての認知症講習会、役立つ介護知識勉強会を開催する。	12か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。□

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告して下さい。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告して下さい。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()